

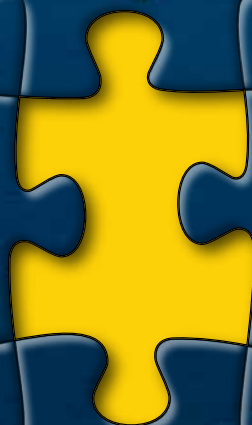
呉市議会だより

# チーム議会



復興への確かな足音が

聞こえるその日まで



# 豪雨災害における 市議会のうごき

## 豪雨災害復旧・復興対策特別委員会を設置

復旧・復興に関する検討を行うため、特別委員会を設置しました。

委員長に就任した石崎元成議員は、「復興という長い戦いになると思いますが、市民が安心して暮らせるまちを目指し、大きな視点で未来の呉を考えていけるような委員会にしていきたいと思っています」と抱負を述べました。

### 委員名簿

委員長	石崎 元成	委員	田中 みわ子
副委員長	土井 正純	委員	井手畑 隆政
委員	上村 臣男	委員	谷本 誠一
委員	谷 恵介	委員	森本 茂樹
委員	林 敏夫		

### 【会議開催状況】

9月28日 今後の復興について議論

## 平成30年7月豪雨からの復旧・復興に関する決議を表明



呉市議会は復旧・復興に向け、惜しみない協力を行っていくことを表明しました。

### ～決議文抜粋～

市民と手を携え、復興に向かって確実に、かつ力強く進み、全ての市民に笑顔と、ふるさと呉に活気が戻る日まで、いかなる協力も惜しまないことをここに表明する。

## 平成30年7月豪雨災害における特別の財政支援を求める意見書を提出


不安なく復旧・復興に取り組める環境を整えるため、特別の財政支援を求める意見書を、本会議で可決し、国に提出しました。

### ～意見書抜粋～

財政面において、不安なく復旧・復興に取り組める環境を整え、被災自治体の状況に応じた支援と復興後の自治体運営に影響を及ぼさないよう、実効性のある補正予算の追加や特別交付税の重点配分などの財政措置を講じること。

## 議会協議会を開催



全議員32人による議会協議会（)を開催しました。

会議では、豪雨災害の被害状況や、今後の対策について報告され、議員から質問や意見が相次ぎました。

### 議会協議会

全議員が参加する会議で市政に関係のある重要な事項及び議会内の各種運営に関する協議を行う。

## Q & A 議会協議会での質疑をピックアップ

**Q** 地域全体が大規模に被災した場合、新たなまちづくりが必要となるため、地域としての復興計画の策定が必要ではないでしょうか。

**A** 国や県との調整を図りながら、将来を見据えた地域のまちづくり計画を策定したいと考えています。

**Q** 農地災害において、国の補助を待つのではなく市がリーダーシップをとって制度をつくるべきではないでしょうか。

**A** 周辺市町の状況、制度等を調査し、市として今後どのようなことができるのか検討していきます。

**Q** 被災者に接する際、優しさをもって接してもらいたいのですが、市としてどのように考えているのですか。

**A** 職員は市民の皆さまのために働くものであり、今後しっかり指導していきたいと思っています。

**Q** 平成18年の断水では、呉市の人口の約15%が影響を受け、この度の豪雨災害では約70%が断水被害を受けました。今回、平成18年の教訓はどのように生かされたのでしょうか。

**A** 給水活動の速やかな体制づくりはできたと思いますが、当時行うことができた自主水源の確保が、今回は濁水の影響でできなかったことは教訓を生かせなかったと感じています。

**Q** 災害への意識が高いうちにハザードマップを周知したり、ため池などの情報を掲載した看板を設置したりすべきと考えますがいかがですか。

**A** ハザードマップは全戸に配布していますが、どこまで認識していただいているか点検できていません。地域で看板掲示することは重要だと思っておりますので、今後研究していきたいと思っています。

### 9月定例会 議案審議

## 呉市で決まった48件

会期12日間

9月10日～9月21日

市長提出議案	36件	※
議長	2件	
委員会	1件	
決議	1件	
意見書	1件	
諮問	7件	
計	48件	

※補正予算案 8件を含む

全ての議案名と結果は呉市議会ホームページ  
↓議員別賛否を御覧ください。



今号ではこの中から  
7月豪雨にかかる内容を

Pick up

〈議第103号〉 呉市事務分掌条例の一部改正案

### Pick up 1 豪雨災害対応のための「復興総室」を創設

豪雨災害からの着実な復興を目指すため「復興総室」を創設します。

#### こんな質問が出ました

Q なぜ創設するのですか。

A 被災者への切れ目のない支援や児童生徒に対する心のケア、土木や上下水道のインフラの強靱化、交通対策、廃棄物・土砂処理への対応、市民防災といった諸課題に、総合的に対応するためです。

Q どのような組織なのでしょうか。

A 9人の専任の職員が、復興計画の策定やその進行管理、呉市復興計画検討委員会等の運営を行います。

〈議第110号～112号〉 専決処分の承認案

### Pick up 2 豪雨災害による被災に伴い、緊急対応にかかる経費を承認

豪雨災害による被災に伴い、緊急対応が必要な災害救助・災害復旧等に要する経費の補正予算が専決（議決）されたため、その承認を行いました。

#### こんな質問が出ました

Q 過去に自然災害で被災した他都市の財政状況はどうなっているのですか。

A 阪神淡路大震災で被災した神戸市では、現在も財政的な影響はかなり続いています。一方、東日本大震災で被災した東北の各都市の財政状況は、発災前の財政状況と大きな変化がないことから、国から大きな支援があったのではないかと感じています。

また、昨年の九州北部豪雨で大きな被害があった朝倉市では、財政調整基金を取り崩し、大幅な起債をするなどの対応でしたが、特別交付税が通常の7倍程度上積みされていました。

### 用語解説 専決

緊急を要する場合などに、議会で議決すべき案件を、議決を得ずに市長が決定すること。その場合、次の議会で報告し、承認を求められることとなります。

Q 呉市では復旧・復興に向けての予算確保を今後どのように行う予定なのでしょうか。

A 今後の財政運営における影響を少しでも抑えることができるよう、特別交付税の増額配分に向け、力を入れていきたいと考えています。

#### こんな意見も

○復旧・復興に関する各種制度の周知をしっかりとすべきだ。

○職員を減らしたり、市が所有する土地の処分を進めたりする施策は、有事を想定していないため、今後の施策にはこのような観点を踏まえて進めるべきではないか。



呉市役所

# 次年度予算に向けた

## 仁友会

災害からの復旧・復興を最優先に、さらなる施策の選択と集中を！

治山・治水事業は、国・県との連携を密にし、早急に対策工事が実施されるよう働きかけるとともに、市が行うべき対策も着実に実施すること。

地域ごとに異なる土砂災害の危険性を周知徹底し、市民の生命と財産を守るために、適切な避難指示等の情報を確実に伝達できるよう準備すること。

経済の復興なくして地域の将来性はないため、国・県とも連携して、産業振興や観光客誘致など地域の経済復興に向け積極的に取り組むこと。

## 誠志会

英知を結集し、難局を乗り越え、時代にあった事業を

働く場における女性の参画や活躍など意識は変わりつつあるが、数値として表れていないため、女性が活躍できる社会をつくること。

教育環境（洋式トイレ、エアコン設置）の整備を推進してきたが、中学校の選択制デリバリー給食はベストではないため、共同調理場を視野に入れること。

JR 呉線の重要性を再認識したところである。災害に強い JR 呉線や呉駅周辺の活性化は重要であるため、一日も早い具体案を示すこと。

## 市民フォーラム

早急な復旧復興と地域防災力の強化を！

土砂や家屋の撤去を早急に行い、元の生活ができる場所の確保と道路や河川の維持経費を増額すること。

阿賀マリノポリスへの企業誘致や観光分野での雇用の確保を含めて、雇用対策について呉市を挙げて取り組むこと。

適材適所の人事配置と職員の資質の向上などに向けたソフト面の充実に、予算を惜しまないよう取り組むこと。

## 平成 29 年度決算を認定

### 平成 29 年度呉市一般会計決算認定案ほか 20 件

13 人の委員で構成する決算特別委員会（委員長 渡辺一照議員）で議案審査を行いました。そして、本会議において、全ての議案を賛成多数により認定しました。

一般会計		
歳入総額	歳出総額	
980億5000万円	967億700万円	
特別会計		
歳入総額	歳出総額	
608億9100万円	590億3800万円	
企業会計 (収益的収支の状況)		
	収益	費用
病院事業	6億5400万円	6億8500万円
水道事業	57億4400万円	57億1100万円
工業用水道事業	6億3000万円	4億4000万円
下水道事業	70億8200万円	66億7700万円

(100 万円未満切り捨て)

# 会派からの提言。

9/19・20 に行われた平成 29 年度決算特別委員会で、皆さんの税金の使われ方が審査されました。審査の中で見えてきた問題点や課題に基づき、会派から来年度の予算に反映すべき提案が行われました。

## 同志会

豪雨災害を乗り越え、安全・安心な呉市へ

災害復旧費・社会保障費など、厳しい財政環境下であるからこそ、事業の選択と集中により、持続可能な財政基盤の強化を図ること。

災害に対する水道、道路、港湾などの都市基盤の弱点を確認し、強靱化を図ること。特に施設の常時点検・監視を徹底すること。

戸別防災情報受信機の設置など、防災情報の徹底に傾注すること。地域との対話等で市民の防災・避難認識の向上を早期に図ること。

## 公明党呉市議会議員団

強い都市基盤と命を守る防災減災対策の強化

一般国道 375 号線「東広島・呉自動車道」阿賀 IC の立体交差化や、主要地方道「呉平谷線」の早期整備など、本市の大動脈と思われる道路網の整備を進めること。

呉市版ネウボラの産前・産後サポートセンター「えがお」では今以上に広島県版ネウボラと連携し、ワンストップで切れ目のない支援体制の充実を図ること。

人的被害ゼロを目指し、時系列で整理し情報を共有するタイムライン（防災行動計画）を導入すること。



## 会派別名簿

### 仁友会

片岡 慶行 北川 一清 田中 みわ子  
井手畑 隆政 岩原 昇 加藤 忠二  
池庄司 孝臣

### 同志会

平岡 正人 梶山 治孝 渡辺 一照  
石崎 元成 神田 隆彦 林田 浩秋  
谷 恵介

### 誠志会

森本 茂樹 土井 正純 小田 晃士朗  
中田 光政 福永 高美 岡崎 源太郎

### 公明党呉市議会議員団


上村 臣男 藤原 広 阪井 昌行  
檜垣 美良

### 市民フォーラム

山本 良二 中原 明夫 林 敏夫

## 議員定数について


平成23年8月の地方自治法改正により、それまで人口に応じて法律で定められていた地方議員定数の上限が廃止され、議員定数は各自治体がそれぞれの実情に応じて条例で定めることになりました。

呉市議会では、平成の大合併以降、統一地方選挙ごとに議員定数の見直しを行っており、合併特例を適用した46人（平成17年～19年）をピークに、現在（平成27年5月～）は32人となっています。今期においても、来年4月に統一地方選挙を控え、代表者会議（)において議員定数について協議いたしました。

代表者会議では、さまざまな観点から「現状を維持すべき」、「削減すべき」という両論が出されましたが、議論を重ねた結果、呉

市は市域が広いと、市民の多様な意見を市政に反映するためには安易に議員定数を減らすべきではないこと、人口20万人～30万人未満の都市の議員定数は平均31.2人であり、呉市の議員定数は平均的であるといえることから、来期の議員定数は「現状維持の32人とすべきである」と結論づけ、改選後、次期議員定数の議論を開始することを申し合わせました。

呉市議会は、今後も市民を代表する唯一の議事機関として皆様の信託に応えるべく活動してまいります。

 代表者会議…正副議長及び所属議員3人以上の会派（6ページ参照）の代表者で構成される会議

## 次回 12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/25	26	27	28	29	30	12/1
	総務委員会	民生委員会	文教企業委員会	産業建設委員会		
2	3	4	5	6	7	8
	告示日					
9	10	11	12	13	14	15
	本会議	本会議	本会議	本会議	総務委員会	
16	17	18	19	20	21	22
	民生委員会	文教企業委員会	産業建設委員会	予算特別委員会	本会議	
23	24	25	26	27	28	29
天皇誕生日	振替休日	(予備日)				

会議は通常10時開会です。

※予定は変更になる場合があります。

## 議会を視る

本会議・常任委員会・特別委員会・議会協議会の模様を、インターネットで生中継・録画配信しています。また、本庁舎1階のテレビで生中継もしています。

## 議会を聴く

本会議・常任委員会・特別委員会・議会協議会を公開しています。傍聴をご希望の方は、会議開催日に、議会棟（庁舎4階）までお越しください。

## 議会を読む

呉市議会だより「チーム議会くれ」は、通常2月、5月、8月、11月に発行します。

市民にとって最も身近な議会の活動を知ることができます。

## 議会を調べる

呉市議会ホームページには、詳しい呉市議会情報が満載です。

また、議会の日常を伝える呉市議会事務局 Facebook も開設しています。

スマホで読める!  
デジタルブック配信!



カタログ  
ポケット  
無料  
FREE APP



▲このアイコンが目印

呉市議会ホームページ  
<https://www.city.kure.lg.jp/site/gikai/>



呉市議会事務局 Facebook

広報委員会委員長 井手畑 隆政

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ということわざがあります。復興に向かう中であっても、今回の災害にどう対応してきたか、何が課題であったのか、そして、どれだけのボランティアの皆さんにお世話になったのか、決して忘れず、新たなまちづくりに取り組みしていきたいと思えます。

9月定例会は、市が災害復旧・復興に集中して対応していくようにするため、一般質問を取りやめることにしました。そのため本号は通常より4ページ削減されています。市当局の体制は被災直後の対応から復興へと変わり、復興総室を設置。議会には豪雨災害復旧・復興対策特別委員会が設置され、集中審議が始まりました。

## 編集後記